

市内の5漁協 相次いで合併契約書に調印 漁協合併契約調印式

平成19年4月1日

豊玉町漁協
上対馬南漁協
誕生へ



合併調印後握手を行う各組合長と立会人の市長と県水産部長(豊玉町漁協合併契約調印式にて)



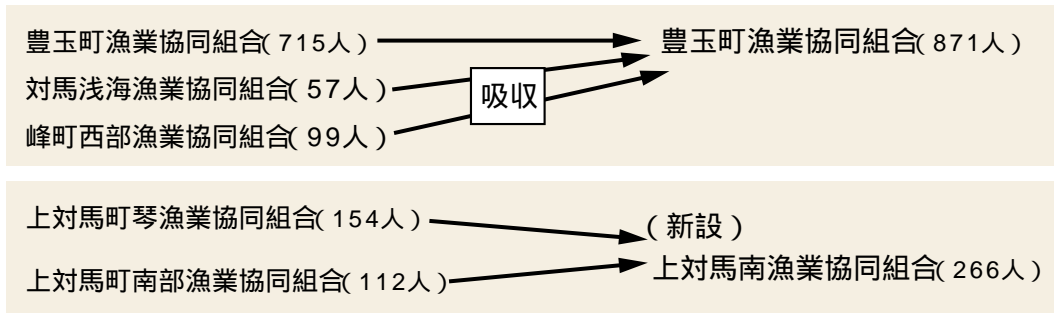
契約書に調印する各組合長(上対馬南漁協合併契約調印式にて)

8月1日、市内の5つの漁協による合併契約調印式が美津島町のホテルで行われました。

合併は豊玉町漁協が、対馬浅海漁協、峰町西部漁協を吸収合併したものと、上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協が合併し、新たに上対馬南漁協として組織されたものです。厳肅におこなわれた両漁協の調印式では、松村市長と長崎県水産部長の立会いのもと各漁協の組合長が合併契約調印書に署名・なつ印を行った

あと、新組合の発展の決意を込めて固い握手を交わしました。式の中で松村市長は「魚価の低迷、漁業資源や漁業従事者の減少、燃油価格の高騰など対馬の漁業を取り巻く環境は多くの課題に直面しているが、水産業の発展なくして対馬の発展はあり得ない。経営基盤を強化した合併漁協が強い指導力を発揮して、組合員の信頼と期待に応えられるよう心から期待します」と会場に集まった多くの組合関係者を激励しました。

合併の概要



()内は組合員数 平成18年3月31日現在

森林保全を目的とした税の導入へ向けて
「県民参加の森林づくり地域説明会」開催される
市民約150人が参加

8月10日、長崎県が導入を検討している「森林保全を目的とした税」に関する地域説明会が対馬市商工会厳原支所で開催され、県林務課長、同税務課長、対馬地方局農林水産部長らが出席。会場に集まった約150名の市民に対し「新税」導入の必要性や導入後の課税方法などについて説明を行いました。



県によると、森林は水資源を育み災害を防ぐほか、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなどの働きを持つっており、このような働きをお金に換算すると県民一人当たり年間45万円の恵みを受けている。しかし、木材価格の下落や山村地域の過疎化、高齢化などにより多くの森で荒廃が進んでおり、森林を健全な形で次

の世代に引き継ぐために社会全体で支えあう仕組みとして「新しい税金」の導入が必要と説明しました。また、「新税」が導入された場合、課税方法は県民税に上乗せする形をとり、税率は個人で年額5000円(法人は年額1,000円から40,000円)で、

税収見込みは年間3億2千万円。使い道としては、手入れ不足箇所の間伐や木の成長を妨げる竹林の伐採など森林の働きを回復させるために使用し、県民の理解を得たうえで、平成19年度にも導入したい考えを示しました。

その後質疑の時間が設けられ、住民からは「税の導入に個人的には賛成だが、多くの県民を納得させるのは難しいのでは」といった意見が出されていました。

県消防ポンプ操法大会で準優勝

美津島第1分団



準優勝を獲得した美津島第1分団チーム

チーム（江嶋指揮者以下5名）は堂々とした操法を披露し、ポンプ車操法の部で見事、準優勝に輝きました。

また、昨年、横浜市で開催された全国婦人消防ポンプ操法大会に長崎県代表として出場した雞知地区婦人消防隊（江嶋隊長以下37名）が軽可搬ポンプ操法の模範演技を披露し、観衆から大きな拍手と声援を受けました。

県消防ポンプ操法大会の結果は次のとおりです。

ポンプ車操法 / 優勝 吉岐市 / 準優勝 対馬市 / 第3位 島原市
 小型ポンプ操法 / 優勝 吉岐市 / 準優勝 時津町 / 第3位 五島市

8月6日、第28回長崎県消防ポンプ操法大会が県消防学校（大村市）で開催され、猛暑の中、全国大会の出場権を目指し熱戦が繰り広げられました。

実際に放水を行う初めての操法大会となった今大会には、県下各分会を代表しポンプ車操法の部に12チーム、小型ポンプ操法の部に13チームが参加しました。

本市からは美津島第1分団（雞知地区）と美津島第10分団（犬吠地区）が出場。強豪が集まる中、美津島第1分団

模範操法を披露した 雞知地区婦人消防隊



林野火災に備え 可搬式消防ポンプ導入

市消防本部



7月28日、市消防本部は可搬式消防ポンプ1台を導入しました。これは長崎県の森林保全を目的とする事業を活用して、県より借り受けたもので期間は3年間。これまでも同事業を利用して、平成15年から昨年までに背負い式消防水のうを80基借り受けています。

今回導入された消防ポンプは重さが24kgと小型で運搬しやすく、消防車が進入できない林野での消火活動に威力を発揮できるのが特徴となっています。

現在、同様のポンプは消防本部及び各出張所に1台ずつ設置しています。

平成18年度 対馬市優良納税組合表彰

12組合を表彰

市が毎年行っている納税組合表彰で、今年度は12の納税組合が表彰されました。表彰は5年以上継続して完納された納税組合に対して行われており、被表彰団体は設立以来、納期内完納を継続しています。

表彰団体

- 【厳原管内】
 - 曲第3納税組合（15年間）
 - 安神納税組合（15年間）
 - 豆酛9納税組合（15年間）
 - 奥浅藻納税組合（15年間）
- 【美津島支所管内】
 - 黒瀬納税組合（35年間）
 - 中の町第一納税組合（25年間）
 - 大船越波岳納税組合（25年間）
 - 緒方納税組合（25年間）
 - 恵比須納税組合（25年間）
 - 元鴨居瀬第一納税組合（20年間）
- 【豊玉支所管内】
 - 高原組納税組合（20年間）
 - 横浦納税組合（5年間）

市長の動き

《8月》

- 1日 漁協合併調印式
- 2～4日 佐須坂トンネル期成会陳情（長崎）
- 5～6日 厳原港まつり 対馬アリラン祭



- 8日 対馬市議会臨時会
- 11～12日 外務省訪問（東京）
- 13～20日 人間ドック、検査入院
- 21～23日 県下市長会、県離島振興協議会全員協議会（島原）
- 25日 新エネルギービジョン策定委員会
- 26日 対馬ちんぐ音楽祭
- 28～29日 港湾協会九州地区支部連合会理事会（宮崎）
- 30日 国民保護協議会
- 31日 市政説明会

海に大はしゃぎ!

岐阜県蛭川ひるかわから小学生5名が来島



バナナボートに乗って大喜びの蛭川の子どもたち



真珠養殖施設を見学

「ひとつばた」の自生地が縁で、平成7年から地域間交流を続けている岐阜県中津川市ひるかわ蛭川(旧蛭川村)から、5名の小学生(5年生1人、6年生4人)が対馬市を訪問しました。今年で12回目の訪問になります。

蛭川の子どもたちは7月29日から3日間、国民宿舎「上対馬荘」に宿泊しながら三宇田浜での海水浴や、地元育成会主催のグランドゴルフ大会への参加、比田勝小学校児童との交流会などを行いました。山に囲まれ海と接する機会の少ない蛭川の子どもたちにとって、特に海での遊びは楽しかった様子。三宇田浜でのバナナボート体験や真珠養殖施設の見学でボートに乗ったときなどは、波を切って海上を走る爽快さに大声ではしゃいでいました。

今年も天候にも恵まれ、子どもたちにとって素晴らしい夏休みの思い出となったことでしょう。

大盛況! 巡視艇の体験航海 比田勝海上保安署



操船を体験する築城陽ひさと聖くん(比田勝幼稚園)
「乗ってみたかった巡視艇に乗れてうれしかったです」

7月22日、比田勝海上保安署が管内の小学生以下の児童と保護者を対象とした巡視艇「はやぐも」「あきぐも」の体験航海を実施しました。当日は梅雨の中日の晴れとなり海上も穏やかで、テレビドラマで放映された「海猿」を反映して多くの参加者で賑わいました。

海難防止の講習と救命胴衣の説明を受けた後、参加者は巡視艇に乗り込み体験航海へ出発しました。航海中に児童たちは乗組員に指導を受けながら交代で巡視艇を操船しました。

操船を体験した扇優ゆうきさん(南陽小学校)は、「船の運転は難しかったけど楽しかったです。夏休みのよい思い出になりました」と感想を話していました。

わいわい フェスタ「夏」で 賑わう

佐須奈商店振興会



多くの来場者で賑わう会場

8月14日、上県町佐須奈のそば道場で、佐須奈商店振興会主催による毎年恒例の夏祭りイベントが開催され、多くの地域住民や帰省客で賑わいました。

イベントは高校生のバンド演奏で開幕。その後、クイズ、職場対抗早食い早飲み大会など趣向をこらした楽しいイベントが開催されました。

また、夏祭りムードを盛り上げる出店やゲームコーナーもあり、会場は参加者の笑顔



職場対抗早食い早飲み大会にて

で溢れていました。最後には、メインの盆踊り大会があり、たくさん浴衣姿の人々が、夏の夜のひとときを楽しんでいました。

釜慶大生がホームステイ

～日本の文化・生活習慣を体験～

韓国釜山市の国立釜慶大学校の学生12名が、7月21日から3泊4日の日程で対馬を訪れ、厳原や豆酏、美津島町大山などの6家庭にホームステイしました。

滞在中は、ホストファミリーとの島内観光や買い物、真珠養殖見学などのほか、帰国前日の23日には厳原本川の護岸に設置されている朝鮮通信使壁画の掃除や厳原町中村の「半井桃水館」で対馬高校生との交流を行いました。

また、全員が浴衣に着替え、市内の3高校が合同で実施した茶会に参加して茶道を体験しました。初めての体験のため、出された和菓子やお茶をどうしたらいいのか戸惑っていましたが、作法を教わりながら、茶道体験を楽しんでいました。



茶道を体験する学生



真珠養殖施設を見学



鶏鳴小のメンバー：

阿比留圭祐くん、西孝基くん、園田実咲さん、斉藤且磨くん(すべて6年生、写真順)

鶏鳴小チームが県大会優勝！

交通安全子ども自転車大会

7月24日、長崎市で開催された第31回交通安全子ども自転車大会の県大会で、美津島町の鶏鳴小学校チームが団体優勝しました。同校による優勝は5年ぶり4回目です。

競技は交通ルールの知識を問う学科試験と、実際に自転車に乗って交差点やS字、8の字などのコースを走行して行う実技試験の合計点で採点されます。キャプテンの西孝基くんは個人戦でも見事優勝、阿比留圭祐くんが2位に入るなど団体戦の優勝に大きく貢献しました。

なお、8月1日、2日に東京都で開催された全国大会では、32位と健闘しました。

はくじゅ

白寿(99歳)のお祝い

8月に99歳を迎えた市内のお年寄りに、市から白寿のお祝いとして敬老祝い金が贈られました。

永留キヨさん

(峰町三根出身)

キヨさんを囲む
息子の兼男さん・紀子さん夫婦



明治40年8月28日生まれ。現在、特別養護老人ホーム「わたづみ」を利用されています。ゲートボールは90歳まで楽しまれていました。長生きの秘訣は、1日3食を欠かさず、身の回りのことを自分ですることだそうです。

小宮モトさん

(上県町佐護湊出身)



明治40年8月23日生まれ。若い時は体が弱かったそうです。上対馬病院に入院する前は、お孫さんと同居されていました。テレビでのスポーツ観戦(野球と相撲)が好きで、巨人ファンだそうです。

小宮ツ子さん

(上県町飼所出身)

娘の百合子さん



明治40年8月15日生まれ。現在、特別養護老人ホーム「いづはら」を利用されています。昔自分で作っていたおいしいサトイモを、みんなに食べさせてあげたいと、たびたび話されるなど、優しいおばあちゃんです。

えっけん
漫画「フビライに謁見した対馬人」
を製作、市へ50部寄贈
「対馬津軽会」



漫画を助役を手渡す対馬津軽会の上原正行会長

えっけん
謁見...身分の高い人にお会いすること。

対馬と津軽の歴史的な関係について研究している厳原町の市民グループ「対馬津軽会」が、このほど漫画「フビライに謁見した対馬人」を150部制作。うち50部を市内すべての小・中学校へ配布してもらおうと市へ寄贈しました。漫画は蒙古襲来(1274年)よりさかのぼること5年前。文永6年2月に元の使者が対馬に到着した際、一般住民の弥二郎と塔二郎の2人を連れ去り、大都(現在の北京)で皇帝フビライに謁見させたあと、同年9月に帰国させるまでの経緯が描かれています。同会の上原正行会長は、「こ

のような対馬人がいたという事実を含め、日本の歴史における対馬の位置づけ、果たした役割などを多くの人に知ってもらいたい」と話していました。

同会は過去に、青森県津軽地方に多い「つしま」の姓のルーツを探った漫画「津軽「つしま」姓ルーツ物語」を500部制作しています。

また、漫画は、ホームページ「対馬あれこれねっと」
<http://www1.ocn.ne.jp/~kurose/>でも公開されています。

問い合わせ先 対馬津軽会
TEL0920 52 0028

新しい ALT (英語指導助手) を紹介します

厳原町、豊玉町、上県町、上対馬町に8月から新しいALTが着任しました。
今後1年間、中学校の生徒たちに英語の指導を行います。みなさんよろしくお願ひします。



ロバート ライスさん

Robert Rice 上対馬町

生年月日：1984年10月19日生まれ(21歳)
出身：米国 ニューヨーク
学歴：ロチェスター大学卒
趣味：演奏と演技
好きな俳優：ジョニー・デップ
対馬の印象：山と木が多く自然が素晴らしいところですね。
ひとこと：みなさんと知り合えることを楽しみにしています。



オリバー マレーさん

Oliver M Murray 上県町

生年月日：1966年8月3日生まれ(40歳)
出身：北アイルランド
学歴：クインズ大学卒
趣味：空手と読書
好きな俳優：アンジェリーナ・ジョリー
対馬の印象：静かな町ときれいな田舎ですね。
ひとこと：対馬の人々は心が温かく優しい人が多いです。



ブラウン アリーシャ レイコさん

Brown Alicia Reiko 豊玉町

生年月日：1984年7月29日生まれ(22歳)
出身：米国 カリフォルニア州 オークランド
学歴：スタンフォード大学卒
趣味：読書、料理
好きな俳優：アンジェリーナ・ジョリー
対馬の印象：雰囲気がおくランドに似ています。
ひとこと：生徒たちとスポーツ(テニス、剣道など)をしたいです。



エベリン チンさん

Evelyn Chin 厳原町

生年月日：1984年11月17日生まれ(21歳)
出身：米国 カリフォルニア州 サンフランシスコ(サンブルノ)
学歴：スタンフォード大学卒
趣味：ピアノ演奏とドラゴンボート
好きな俳優：妻夫木 聡
対馬の印象：自然が多くきれいなところですね。
ひとこと：たくさんの人と知り合いたいです。

天然塩の製造販売を行っている株(株)白松の美津島町工房(久須保・竹敷)で生産されている「浜御塩」。対馬の澄んだ海水を汲み上げ、昔ながらの窯焼き法により製塩された自然海塩である「浜御塩」が、大手菓子メーカー「カルビー」の期間限定ポテトチップス「夏ポテト」に2年連続で採用され、今年も全国で6月から9月までの間販売されています。(地域により販売期間は若干異なります)

対馬の海から採れた (株)白松の「浜御塩」



竹敷工房の前で「夏ポテト」を手を持つ権藤正展工房長

味と品質が認められ 大手菓子メーカーに採用

話していました。カルビーには、昨年4.5トンを出荷。今年は5トンの出荷を予定しています。

対馬市の人事異動

9月1日付異動

氏名後の()内は旧所属

- 【市長事務部局・本所関係】
- 《福祉部》【福祉課】(日吉の里) 看護師 小茂田あゆみ(北保健センター)
- 《保健部》【南保健センター】(健康推進班) 保健師 松永ふみ(北保健センター)(地域包括支援班) 保健師 廣川久美子(同所健康推進班)
- 【北保健センター】(健康推進班) 係長 大石博美(保健部健康推進課)

～半井桃水館 利用のご案内～

どなたでもお気軽にご利用ください。

7月15日にオープンした半井桃水館(厳原町中村地区)。開館から2ヶ月が経過した現在、各種会議やボランティア活動といった地域の活動に広く利用されています。

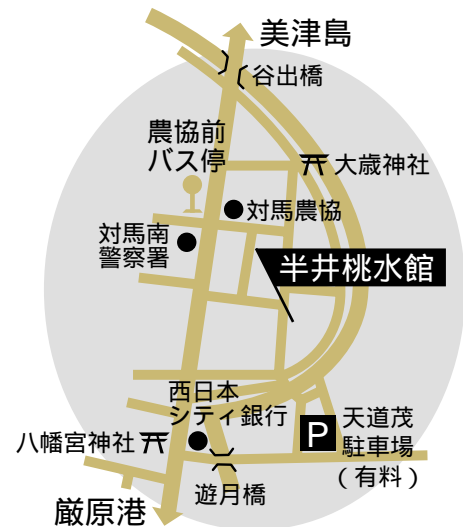
また、観光客らが立ち寄り、武家門・石堀等の歴史的雰囲気を活かした庭で休憩したり、対馬杉の香りが漂う館内で地区輩出の偉人について学んだり、子どもたちの学習・遊びの場としても利用されています。

管理運営は指定管理者制度により、9月1日より「特定非営利活動法人(NPO)対馬郷郷」が行っています。利用については次のとおりです。

利用時間：9:00～22:00(ただし、予約がない場合は18時で閉館)
休館日：毎週火曜日、年末年始(12月29日から翌年1月3日)
使用料：1時間あたり

室名	面積(m ²)	使用料	空調施設使用料	備考
休憩室1・2	27.26	200円	100円	収益を目的とするものは10倍となります。
休憩室1	15.51	100円	50円	
休憩室2	11.75	100円	50円	
多目的スペース	58.76	500円	50円	
ギャラリー	23.03	200円	50円	
特産品販売スペース	9.69	50円	50円	
文庫教室	18.39	無料	無料	
常設展示室	13.89	無料	無料	

利用方法：予約 申込 承認
予約・申込は休館日を除く9:00～17:00までです。
(18時以降に利用する場合は、前日までに予約をお願いします。)
予約後、申請書を提出してください。



連絡先 半井桃水館 対馬市厳原町中村584番地
電話・ファックス番号 0920(52)2422
メールアドレス nakarai.tosuikan@aria.ocn.ne.jp

- ・本館に駐車場はありません。
- ・有料の天道茂駐車場をご利用ください。